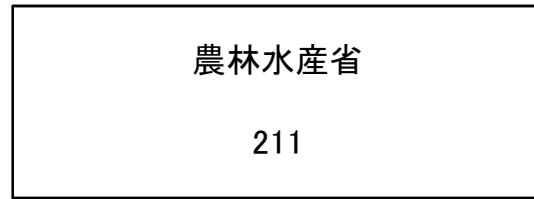


平成24年行政事業レビューシート(復興庁、農林水産省)

事業名	農業経営復旧・復興対策利子助成金等交付事業 (復興関連事業)		担当部局			作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～未定		担当課室	復興庁統括官付参事官(予算会計担当) 農林水産省経営局金融調整課		参事官 尾関 良夫 課長 村井 正親		
会計区分	一般会計・東日本大震災復興特別会計		施策名	⑤意欲ある多様な農業者による農業経営の推進				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	東日本大震災復旧・復興農業経営基盤強化資金利子助成金等交付事業実施要綱(平成24年4月6日付け23経営第3536号農林水産事務次官依命通知)				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	東日本大震災に被災した農業者等が行う復旧・復興の取組みを支援するため、借入れの際の金利負担軽減を行うことにより、被災農業者等が必要とする資金の融通を円滑にする。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> 被災農業者等が復旧・復興の取組のために借り入れた資金について、 借入者の金利負担軽減を図り、復旧・復興の取組を金融面から支援するため、 平成23年度までに(財)農林水産長期金融協会が利子助成を約定した被災農業者に対し、 同協会が約定に基づき利子助成金を交付する際に必要となる財源を国が同協会に交付する。 補助率:定額 ※平成24年度以降は、復興庁で一括計上し、予算執行は農林水産省で実施。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予 算 の 状 況	当初予算	-	-	-	1,686(復興庁計上)	※(復興庁計上)	
		補正予算	-	-	888(農林水産省計上)	-		
		繰越し等	-	-	0	-		
		計	-	-	888	1,686		
	執行額		-	-	211			
執行率(%)		-	-	24%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	・農業総産出額に対する日本政策金融公庫資金(農業経営向け)の貸付残高指数(12%を目安として維持) ・設定した融資枠800億円を目安として、意欲ある農業者の資金調達を円滑化を目指す。 (融資枠は融資可能な上限額のため、融資枠の8割を達成したことをもって目標を達成したこととする。) ※下段()書きは年度目標値、上段は年度実績値		成果実績	指標 (目標値) (%) 融資実績 (融資枠) (億円)	-	-	13.6 (12) 734 (800)	-
			達成度	%	-	-	113 92	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	利子助成融資実績		活動実績 (当初見込み)	億円 融資実績 (融資枠)	-	-	734 (800)	-
単位当たり コスト	① 76,810 (円/件) ② 25,930 (円/件)		算出根拠	①利子助成額157百万円(23年度実績)/利子助成に係る融資件数2,044件(23年度) ②事務経費53百万円(23年度実績)/利子助成に係る融資件数2,044件(23年度)				
平成24・25年度 予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	利子助成金	1,600	※(復興庁計上)					
	事務関係経費	86	※(復興庁計上)					
	計	1,686	※(復興庁計上)					

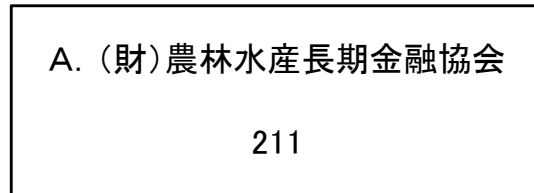
事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> 被災した農業者の復旧・復興の取組みを支援する事業であり、ニーズがあり、優先度が高い事業であると認められる。 広域に所在する被災農業者等を対象とする事業であり、国が実施すべき事業であると認められる。 利子助成金の交付を的確かつ効率的に実施するためシステムの再構築等事務コスト削減を図っている。 		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>本事業は予算額について、23年度の執行率が24%と低い。以上のことから、「執行額と予算額の乖離の改善」を行うべきであり、本事業としては「一部改善」とする。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	<p>※ 東日本大震災復興特別会計における金融関係事業に関する予算措置については、農業者の資金繰りに万全を期すため、被災地域の復興状況を踏まえながら、被災農業者の資金需要を慎重に見極めることが必要。このため、当該事業に係る平成25年度要求額及び所見を踏まえた改善点については、予算編成過程において検討していくこととなる。</p>		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	復興-0018

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)



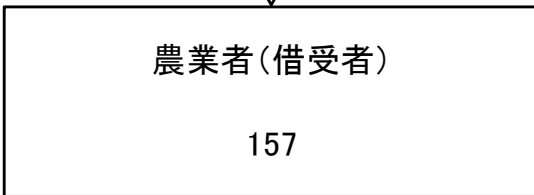
補助金の交付

【特定・補助】



被災農業者等が、日本公庫等の災害復旧・復興関係資金を借り入れる際の返済負担を最小限とするため、貸出金利が実質無利子となるよう利子助成金を交付。

利子助成金の交付



A. (財)農林水産長期金融協会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
利子助成金	公庫等の制度資金の借受者に対して 利子助成	157			
事務経費	利子助成金を交付するのに必要な事務経費	53			
計		211	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)農林水産長期金融協会	公庫等の制度資金の借受者に対して利子助成金を交付	211	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					